

赤羽委員提出資料

平成 28 年 8 月 29 日

長野県食と農業農村振興審議会 事務局 御中

審議会委員 赤羽 昭彦

「第 2 期長野県食と農業農村振興計画の推進について」意見

8 月 30 日開催の「第 1 回長野県食と農業農村振興審議会」へのご案内を頂きましたが、所用により出席出来ず申し訳ありません。

事前に送って頂いた資料に基づき、「今後さらに取り組むべき具体的な施策等」について、下記 2 点、意見を提出させていただきます。

当日のご説明で足りる点もあるかと思いますが、よろしく申し上げます。
盛会をお祈り申し上げます。

記

1. 夢に挑戦する農業

施策展開 2：自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産

エ. 信州農畜産物の生産を支える農地・水、技術〔P75～77〕

① 農地・水（生産基盤の整備）

○農業水利施設等の維持・補修と長寿命化対策

2. 皆が暮らしたい農村

施策展開 6：美しい農村の維持活用

ア. 農山村の多面的機能の維持と環境保全〔P101～103〕

○農地や農業用水路等の保全管理の推進

○中山間地域の継続的な農業生産活動の推進

※意見は別紙

1. 夢に挑戦する農業

施策展開2：自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産

エ. 信州農畜産物の生産を支える農地・水、技術〔P75～77〕

① 農地・水（生産基盤の整備）

○農業水利施設等の維持・補修と長寿命化対策

〔意見〕

- ・信州農産物の生産を支える農業水利施設等の維持・補修と長寿命化対策は喫緊の課題
- ・基幹的農業水利施設を管理する土地改良区等だけでなく、水利組合等末端水路まで含めた維持管理を行う体制の強化を期待する
- ・多面的機能支払や中山間直接支払など、末端の水路等の維持保全を行う上では有効な事業制度であり、制度の継続を期待する
- ・老朽化が進む農業水利施設等を適切に管理していくため、「長野県農業水利施設保全管理会議」が設立されたが、「地域別の取組み状況」（レポート5章 P123～169）に記載がない。今後の全県的な取組みに大いに期待する

2. 皆が暮らしたい農村

施策展開6：美しい農村の維持活用

ア. 農山村の多面的機能の維持と環境保全〔P101～103〕

○農地や農業用水路等の保全管理の推進

○中山間地域の継続的な農業生産活動の推進

〔意見〕

- ・農山村の多面的機能の維持と環境保全につながる農地や水路等の保全活動を行う組織への支援として、多面的機能支払事業や中山間地域農業直接支払事業は有効な制度

○多面的機能支払事業

- ・継続地区や新規採択地区を対象とした研修会（H27：計26回）の開催や相談窓口の設置」などにより、支援体制は充実したが、
- ・目標達成（H29：50,000ha ←H27：38,391ha 77%）に向け、地域拡大への取組みを期待する

○中山間地域農業直接支払事業

- ・高齢化等の影響で、4期対策への取組みを断念した集落があるとのことで、市町村や協定代表者との意見交換会を実施しているが、どう分析しているか？
- ・諦めるのではなく、継続を可能とするよう、制度や仕組みの改正を国へ要望するなり、県としての独自の支援策を期待する